

〈記入例〉

農地法第3条の規定による許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

日立市農業委員会会長 殿

〈譲受人等〉

氏名 助川一郎 ㊟

〈譲渡人等〉

氏名 多賀太郎 ㊟

下記農地(採草放牧地)について { 所有権・賃借権・使用貸借権
その他 () } を { 設定・移転 }

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

記

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所	備考
譲受人 (借受人)	助川一郎 電話 〇〇-〇〇〇〇	50	農業	日立市大和田町1050	
譲渡人 (貸付人)	多賀太郎 電話 〇〇-〇〇〇〇	80	農業	日立市大和田町100	

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在			地番	地目		面積 (㎡)	所有者の氏名 又は名称	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合		備考
市	町	字		登記簿	現況			権利の種類	権利者の氏 名又は名称	
日立	大和田	〇〇	〇〇	田	田	〇〇	多賀太郎			
計	田	〇〇	㎡	畑		㎡	採草放牧地	㎡	合計	〇〇

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の詳細

契約の種類	売買 贈与 賃貸借 使用貸借 その他 ()				
契約時期	対価(10a当り)	土地の引渡時期	賃料	賃貸借の契約期間	水田裏作の場合
令和〇〇年〇〇月	〇〇〇 円	令和〇〇年〇〇月	年額 円	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
水田裏作の作付けに係る事業概要					

4 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

ア 譲受人等

申請地は、自作の田に接続する農地で耕作に便利であり、家族労力に余裕があるので経営規模を拡大する など記入する

イ 譲渡人等

高齢化による労力不足のため など記入する

5 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農地（採草放牧地）の状況

		田 (㎡)	畑 (㎡)	樹園地 (㎡)	計 (㎡)	採草放牧地 (㎡)
所有地	自作地	〇〇	〇〇		① 〇〇	④
	貸付地					
所有地以外	借入地	〇〇	〇〇		② 〇〇	⑤
	貸付地					
現在の経営面積					①+② 〇〇	④+⑤
今回権利を取得しようとする面積					③ 〇〇	⑥
権利取得後における経営面積					①+②+③ 〇〇	④+⑤+⑥

非耕作地（該当する場合のみ）

所在・地番	所有地 借入地	地目		面積 (㎡)	状況・理由
		登記簿	現況		

6 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の機械の所有の状況，農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物，作物別の作付面積

	田	畑			樹園地	採草放牧地
	作付(予定)作物	水稻	野菜			
権利取得後の面積(㎡)	〇〇	〇〇				
必要な農作業期間	1月から12月まで				計200日	

(2) 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の状況及びその他の農作業に従事する者の状況

世帯員等	氏名	年齢	続柄	職業	農作業経験等	農作業に常時従事する期間	
	世帯員等	助川一郎	50	本人	農業	35年	1月～12月
助川花子		48	妻	農業	30年	1月～12月	計250日
助川太郎		28	長男	農業	15年	1月～12月	計300日
常雇					年	月～月	計日
					年	月～月	計日
臨時雇用		年間延日数 日					
農作業に従事する者の住所地，拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間						自宅から徒歩約10分	

(3) 大農機具又は家畜の保有状況

	トラクター	耕うん機	自走田植機	コンバイン	軽トラック	牛	豚	鶏	
確保済み	1台		1台	1台	1台				
導入予定									
導入のための資金繰り	自己資金			融資		その他()			

7 信託の引受け該当有無（該当する場合のみ） 有・無

8 転貸の有無 有・無

9 周辺地域との関係

申請地は、これまで水田として利用されており、今後も、同様に水田として利用するため、周辺農地に影響はない。

10 その他参考となるべき事項